

本年度の重点

八本松まちづくり長期計画の策定

自治協総会

自治協ニュース

新型コロナウイルスで書面決議 委任を含め100%の賛同

第0401号 発行者 八本松住民自治協議会 R04. 05. 20

地域共生社会の実現 新たな地域センター整備

決議結果

評議委員数 119名
書面決議 ハガキ回収数 99名
賛成者数 99名
委任者数 20名

本年度は新型コロナウイルス感染防止のため通常の総会を開くことができず、前もって4月17日（日）以降、評議員（自治協の全構成員119名）に總會資料を配送し、ハガキで議案の賛否や意見等を回答してもらうこととしていた。回答を集約した結果、99名の評議員から回答が提出され、各議案とも全員一致の賛成が確認され原案どおり承認された。特に本年度の重点活動は、「八本松まちづくり計画」の策定を2年前倒しし、「第3期長期行動計画」の策定を行い、区画整理事業をはじめめとする公共建設事業と

5月14日（土）八本松住民自治協議会（会長 土久岡章治）は、八本松地域センターに於いて役員会を開き、住民自治協議会総会提出議案の書面決議を集約し、各議案を決議した。

令和4年度予算

収入の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額(円), 予算割合%, 内容. Rows include 前年度繰越金, ①基本交付金, ②募金・市民グラウンド管理費, ③地域選択9項目, ④避難・福祉・廃棄物対策等, 収入合計, 収入の部合計.

支出の部

Table with 4 columns: 項目, 予算額(円), 予算割合%, 内容. Rows include ①自治会活動費・補助金・謝礼金等, ②協議会諸費事務管理費, ③防災・福祉・環境委員会活動費, ④自治会・文化・体育・青少年部会活動費, ⑤予備費, 支出合計, 次年度繰越金, 支出の部合計.

業と呼びし、住民の皆様の声を反映した「これからのまちづくり」の基盤づくりに着手する計画。また、今後高齢化が進み課題とされている福祉対策は、支援する自治会組織の強化と両輪で進め、「ともに分かち合える地域づくり」にと地域共生社会の実現を目指す。

さらに、八本松地域センター等新たな八本松地域の公共施設整備事業についても、地域住民の皆様の声を反映し、新たに策定する「八本松まちづくり長期計画」が実現できる公共施設を要望する計画。こうした、自治協の方策に対し、書面決議で評議員全員の賛同が得られるとともに、今後の自治会組織のあり方や活動方法等について意見が寄せられていた。土久岡会長は、「本年はこれからの10年を見据え方向性を定める重要な年となる。コロナ対応のため評議員による総会ではできなかったが各部会や委員会を通

議案に対するご意見と要望

意見

- 1 自治会活動費の活動内容の説明を求む
2 環境委員会活動費の内容の説明を求む
3 広報部の活動について説明を求めむ
4 自治協から他団体への補助金扱いについて説明を求む

要望

- 1 福祉活動予算の配慮を求む
2 「夢拾い八本松」の活動に配慮を求む
3 自治協の組織体制表の配布を求む
4 自治協と自治会の位置づけと役割について説明を求む
5 コロナ禍の活動について

し住民の皆さんの意見が反映できる具体的な対応を進めたい」と本年度の方針を述べるとともに、意見と要望について積極的な対応の考えを示した。

地域貢献 株式会社網本工業と シンクコンストラクション・ファームJV

（株）網本工業 自治協に 交通安全指導旗を寄贈

子供たちの登下校ルートを守り見守り隊員の方を支える

3月30日（水）八本松住民自治協議会（以下「自治協」）会長 土久岡章治）は、通学路で用いる「交通安全指導旗」130本を自治協に寄贈した株式会社網本工業（代表取締役 網本竜也さん）に感謝状を贈った。



感謝状を手にする（株）網本工業の鈴木さん（右）と土久岡会長（左）

寄贈した網本工業は、道の駅「西条のん太の酒蔵」と国道バイパスの接続道を施工している業者。工事のため近隣の団地内の道路（子供たちの通学路となっている）を一般車両の迂回路として協力してもらった地域の皆様にご迷惑をおかけしたとして、子供たちの安全な登下校

のためにと見守り隊員が用いる交通安全指導旗を寄贈したのもこの日自治協から感謝状を受けた網本工業工事部次長の鈴木芳幸さんは「子供たちの安全な登下校のお役に立てれば幸いです」と述べた。

寄贈された指導旗は、従来のものより格段に大きく（70cm×70cm）遠くからでも運転手が確認できる。配布を受け、実際に溝迫交差点で指導旗を使用された隊員の方も「安心して指導ができます」と感想。感謝状を贈った後、自治協土久岡会



交通安全指導旗を手にする登下校見守り隊員の皆さん

シンクコンストラクション・ファームJV 小学校区に大型テントを寄贈

中央地区と大曾場地区の住民の皆さんの要望に応じて

4月14日（木）八本松住民自治協議会（会長 土久岡章治）は、地域のイベントで使用される大型のテント一式を小学校区に寄贈したシンクコンストラクション・ファームJV（代表取締役 正路隆弘さん）に小学校区を代表し感謝状を贈った。



土久岡会長（左）から感謝状を受け取る佐山さん（右）

シンクコンストラクション・ファームJV

（特定建設工事共同企業体）は、八本松駅南地区干地区画整理事業で八本松市民プール跡地と隣接するため池を合わせた区画に新たな調整池の整備の施工を行っている会社で、自治協の依頼にに応え地域貢献にと八本松小学校区にテントを寄贈。このテントの活用は特に小学校の運動会や校区を同じくする八本松中央地区と原の大曾場地

区の皆さんが一緒に応援できるテントとして活用される。また、この地域は最近人口増が顕著で児童数も増えており、特に大型のテントの導入が望まれていた。寄贈されたテントは、5m×5mのキングサイズで46人収容可能。

この日、自治協から感謝状を受け取ったシンクコンストラクション・ファームJVの現場代理人の佐山晃希さんは、「このテントが地域の皆様のお役に立てればうれしいです。また、今後皆様方のご協力を得ながら来春3月末の完成を目前に調整池の工事を進める予定です」と語った。

寄贈されたテントは八本松集会所に保管され、小学校の運動会の

ほか、この地域のイベントでも有効に活用される。

また、シンクコンストラクション・ファームJVの施工する調整池は、集中豪雨による下流域の河川氾濫を防止する恒久的な防災施設で、七つ池の景観を維持する環境保全施設としても期待されている。

シンクコンストラクション・ファームJV（特定建設工事共同企業体）は、八本松駅南地区干地区画整理事業で八本松市民プール跡地と隣接するため池を合わせた区画に新たな調整池の整備の施工を行っている会社で、自治協の依頼にに応え地域貢献にと八本松小学校区にテントを寄贈。このテントの活用は特に小学校の運動会や校区を同じくする八本松中央地区と原の大曾場地

区の皆さんが一緒に応援できるテントとして活用される。また、この地域は最近人口増が顕著で児童数も増えており、特に大型のテントの導入が望まれていた。寄贈されたテントは、5m×5mのキングサイズで46人収容可能。

この日、自治協から感謝状を受け取ったシンクコンストラクション・ファームJVの現場代理人の佐山晃希さんは、「このテントが地域の皆様のお役に立てればうれしいです。また、今後皆様方のご協力を得ながら来春3月末の完成を目前に調整池の工事を進める予定です」と語った。

寄贈されたテントは八本松集会所に保管され、小学校の運動会の



寄贈された大型テント前に自治協と中央自治会役員の方の皆さん